

Covidによる世界乗っ取り計画が、億万長者インサイダー によって暴かれる

State of the Nation

October 26, 2021

<http://stateofthenation.co/?p=92470>

SOTN 編集者ノート：権力エリートが、全く向こう見ずで、暴力的に厚顔で、異常者的に自暴的な「作戦 COVID-19」と、Covid スーパーワクチン接種計画を実現するためには、考えられないほど立派な理由がなければならなかった。次に説明されている話は、いかにもありそうだけでない。「この世界を運営する、金持ちで権力ある狂人たち」のこのような行動は、完全にキチガイ沙汰である。 <https://stateofthenation.co/?p=71144>

以下は、このインサイダーによる手記の全文である：――

私はそれが誰なのか、またなぜかを言わないことにする。ただ、私はこの人物と数日間ともに過ごし、彼らはニュージーランドに、ある隠れ場所を持っている、とだけ言おう。このある知られた、とびきりの金持ちと、私が「付き合った」のは、これが初めてのことである。これは偶然の出会いで、彼らのためにクイーンズタウンで、私がある仕事をした後のことだった。ディナーが振舞われ、飲み物が出た。そして議論が始まった。私は週末の間、ここに滞在するように招かれた。私はそれをいま、整理したうえで掲載している。

彼らは私に対して、あけっぴろげに気軽に話したが、ただ、もしこうしたことを人に言えば、「我々は会ったことがない」のだと釘を刺した。しかし笑って、どうせ誰もそれは信じないだろうと言い、まあ「楽しんでくれ」、誰だということを言わなければ、それでいい、と言った。

彼らは、我々には、ここで気がかりなことは何もないと言い、我々から聞いたどんなことがあっても、君のことを、現在ニュージーランドにいる、最もラッキーな人間の一人だと考えよう、と言った。

彼らは、私がワクチンを打ったかと聞き、「いいえ」と答えると、それは良かったと言った。彼らは、「きっとキーウイでも解毒剤を飲むだろうよ」と言い、まあ、そこまでやらない者

たちもいるのだがね、と言った。結局、「自分で」そこまでやらねばならなくなった者たちが、いたということだ。

私は初めに訊ねた——彼らはこの Covid のことすべてについて、「結末」をどうしようと思っているのですか？ すると彼らは、大いに面白がり、君はどう思っているのだ？ と聞いた。しかし私は特に何も言わなかった。

彼らが基本的に言ったことは、こうだった：——

—ある計画が、何年も前に出来上がっていた。そしてそれは何年もの間、そのまま、計画のままだった。彼らは、その技術が利用できるようになって、計画が実行できるまで、長年の間、待たねばならなかった。そして適切な個々の人物を選ばなければならなかった。

—これは明らかに、ある新しい地球政府を定めることになる。(詳細が後につづく)

—この新しいグローバル政府は、すでに数年前から、完全な秘密裏に活動しており、出番を待って準備しながら、チェスの駒を動かしていた。

—新しい政府は、この惑星で最上の頭脳を要求していたが、そのほとんどの者が、彼ら自身の自由意志で、船に乗り込んできた。彼らは新しい世界政府の理想を心から信じていた。彼らは、どんな犠牲を払っても、人類を救わねばならないという、確信犯的な力をもっていた。話では、拒否した者たちは罰を食ったという。しかし、ほとんどの場合は、こうした人物が、より大きなグループに連れ込まれると、彼らは納得して、彼らの大きな理想に賛同するようになった。ほとんどの場合、これらの「頭脳」はニセの (fake) 仕事に志願し、最初の段階として、心理評価 (psyche evals) などを受けることになった。

—この計画は、今も続いており、これはこれまでに行動に移された、最も複雑な地球的出来事の連鎖である。

この**計画**は本質的には、あらゆる国家のあらゆる市民を、彼ら自身の政府に激しく対立させることである。彼らにそれを行わせる方法は、純粹精神であり、**純粹悪**である。

この計画を達成するために、私の偶然の出会い (をもたらした人) は、私ならどうするかを訊いたのだった。君なら、あらゆる国家のあらゆる市民を、彼ら自身の政府に対立させるために、どうする？ 私は全くどうしてよいかわからなかった。そこで彼らは私のために、基本を展開してくれた：——

- あるグローバルな、操作された「病気」がなければならない。
 - 集団的恐怖、パニック、またパラノイア（偏執病）がなければならない。
 - 指導者、科学者、またメディアは、ある「治療」のコンセンサスに協力しなければならない。
 - その治療は、本質的に彼らに手渡されるだろう——彼らがそれに気づいていなくても。
 - まず最初に、わずかな「認可された」治療だけがあるのだ。他のすべての治療は「危険で、安全性がなく、禁止されたもの」とみなされねばならない。
 - 指導者、科学者、またメディアは、この「治療」が唯一のオプションだと信ずるように操作される。それは、あなたとあなたの家族の安全を保つ、唯一の方法なのだ。
 - 指導者、科学者、また、ある意味でメディアも、この治療こそ安全で効果があるという、宣伝広告をする。
- 子どもたちもまた、それがうまくいかない場合には、最大の苦痛と怒りを与えるように狙われていた。

私はこの部分を面白いと思った。我々の指導者、科学者、またメディアは、この計画の共犯者**ではない**。またはどんな意味でも、現実に計画の一部ではない。**彼らの誰も**、ファウチでさえそうではない。彼らは、これらエリートに、単に利用されるもの (fodder)、その目的に役立ち、それから「捨てられる」か、「怒れる者たちの餌になる」かである！ 彼らはずっと遊ばれてきたのだ。

- この「治療」に疑問をもつ、わずかの部外者たちは、さまざまな方法で信用を奪われ、検問を受ける。
- 許可された「治療」が、生物薬剤/毒薬で、完全に実現するには、2-3年かかるだろう。
- mRNA は、彼らがずっと待っていた、進歩したテクノロジーだった。
- 公的な宣伝広告は、人々がこの「治療」を求め、列をなして待つことを確実にする。

我々はこう考えてよいだろう——この計画は現時点で、順調に進行しており、ここまではかなり成功している。mRNA の受け入れは、かなり高く、人々はみんな、この「治療」が唯一のノーマル状態への復帰の方法だと信じている。

彼らは、これは予想をはるかに超えた、驚くべき結果だったと言っていた！

次は何が待っているのか？

これこそ最終的な計画が、やっつけのけりことだ。

ワクチン物語では、テーブルの向きが変えられる。やがてワクチンは感染力を増し、死者を増やすだろう、と私は聞かされた。何億という人間が死に、人々は怒り狂い、自分たちの政府を焼き滅ぼすだろう。彼らの指導者、科学者、またメディアは、放火され、狩り出され、道路上で絞首刑にされるだろう。両側が共に、彼らの政府を灰燼に付するだろう。ワクチン賛成派は、完全に裏切られ、死にながら荒れ狂い、…否定派は、彼らの政府がそうなるように許したことに、怒り狂うだろう。

ひとたび大衆が、政府と、彼らを「裏切った」者たちから解放され、十分に苦しみを味わったとき、その時こそ、新しいグローバル政府が、偉大な救世主として出現するときである。それは「簡単に落とせるよ」と、彼らは言った。

このとき、私の頭の中で片がついた。(This was my brain dump) 私はおそらく逃げ腰になっていた。彼らはこのことを、更に説明しようとしていたが、私はなんとか直接の質問を無視した。

彼らは私のことを好きだと言い、もやもやが収まるまで、しばらくここにいてほしい、君はすごく役に立てる人物だ、と言った。

私にはわからない。私は頭の隅で、彼らは私を f'ing したいのかと思った。

[訳者 Greatchain より]

これは貴重な記録である。この記録者はおそらく、かつて論じた女性スヴァーリのように、イルミナティの家庭に生まれたが、自分がどういう環境にいるのか、よく知らない若い男性と思われる。相手が誰かはわからないが、少なくとも名の知られた人物で、この場所が、ニュージーランドのクィーンズタウンの「隠れ家」であることがわかる。これだけでも収穫であろう。

これは現在、必死になって、ワクチン接種を奨励している人たちのことが話題になっているのだから、よく注意して読んでほしい。最初に相手が尋ねる：——「ところで君はワクチンを打ったか？——いいえ——それは良かった、きっとキーウイでも解毒剤を飲むだろうよ」…そもそも政府関係者たちが、彼らを露ほども疑うことなく信ずることが、信じがたいことである。

これを読んで納得できなかった部分は、ほとんどなかった。彼らは、いわば教科書どおりに、One World Government 樹立を信じ、我々を病気にすることを「治療」と称して

暗躍する、狂人・犯罪者どもだった。ここに pure evil (純粹悪) という言葉が出てくる。これは我々のブログが、何年も前から、彼らの悪のあり方として使ってきた概念である。彼らがそれを自覚していることが、これでわかったことは収穫であった。

重要な点はいくつもあるが、急を要するのは、ワクチン「治療」(皮肉を込めて) 計画に効果が現れるには、「2-3年かかる」と言っている所である。これは、2-3年は現れないように細工してある、という意味であろう。

彼らは類いまれな知能犯であり、心理作戦の専門家であって、たやすく手の内を見せることはない知るべきである。また、ファウチでさえ、計画の全貌を知らず、自分が利用されていることを知らない、というのは「なるほど」と思わせる。彼らは「計画」して、冷徹・冷酷・緻密に考えるが、「魂」というものを持たない。したがって Holism という概念を理解できず、恐れるので、その医学者・治療家を次々に暗殺するというようなことが起こる。これも我々が前から指摘している。

これをさらに敷衍するなら、彼らが最も恐れるのは、Intelligent Design すなわち有神論的世界解釈が、世に広まることである。これはほとんど確実であるが、多くの人は、教え込まれた通りに、ID 論者は頭が悪いのだろうと思っている。実は、ここを攻略できなければ、彼らに本当に打ち勝つことはできない。しかし、これは更に大きな話題になってしまう。